

## こども・家族医療サポート室 在宅支援担当

# リニユアルしました！

このたび医療相談室と在宅支援室が一緒になり、こども・家族医療サポート室となりました。この部屋には、医療社会事業担当の医療ソーシャルワーカー4名と在宅支援担当の看護師2名がいます。

今回は在宅支援担当について紹介します。在宅支援担当看護師は、平成28年4月に配置されました。医療的ケアや医療機器を必要とする子どもたちを中心に、退院後も安全に、そして安楽に生活ができるよう退院支援を行っています。その際、子どもと家族がどのような生活をしたいかという気持ちに寄り添い、そのためにはどうすればよいかと一緒に考えることを大切にしています。また、院内のいろいろな職種の方々と連携しながらすすめています。必要時は多職種カンファレンスを開き、各担当者が退院までの役割を明確にして安全にスムーズな退院ができるよう努めています。

近年の医療体制として、大人では地域包括ケアシステムが整えられていますが、医療的ケアや医療機器を必要とする子どもたちに対しては、地域での基盤は十分とは言えません。少しでも自宅で過ごしやすい環境の調整や、子どもの成長発達をのばしていくけるよう、地域の保健師や福祉課、相談支援専門員などと連携し利用できるサービスを考えています。また、重症児や医療ケアが必要な子どもに対応している訪問診療医、訪問看護ステーションの紹介もしています。

子どもと家族を取り巻く多くの人たちと協力し、子どもが住み慣れた環境で安心して過ごし、その子の成長を家族と一緒に見守っていきたいと思っています。



## 私たちも活躍しています 心療科（心理）

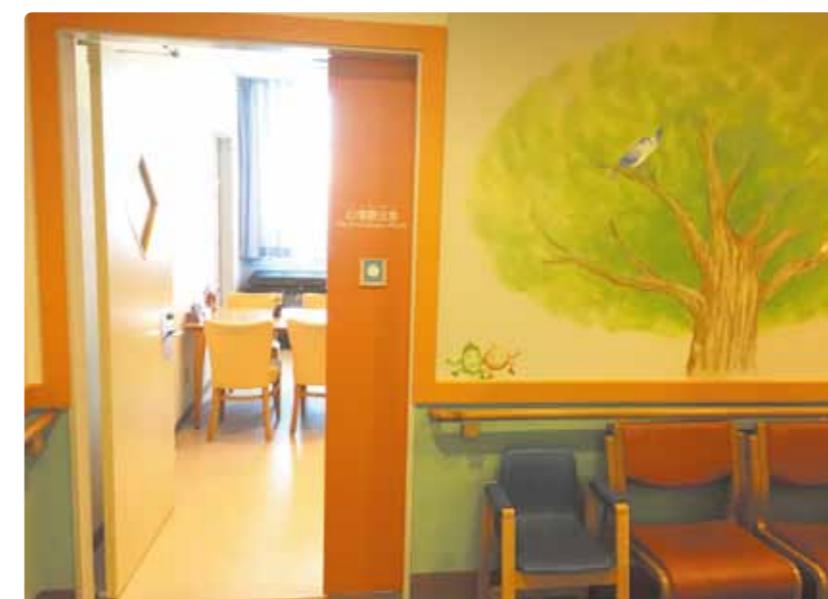
あいち小児保健医療総合センターにおける心療科部門の診療は、昨年の平成30年3月末を持って終了し、愛知県心身障害者コロニー中央病院に移転しました。

あいち小児保健医療総合センターに残った心療科の医師1名と心理指導科の臨床心理士の2名は、4月より「診療支援部心療科」として、現在は主にリエゾン活動を行っています。

リエゾン活動とは、身体疾患に伴う心の問題にチームで対応する活動のことで、多職種で連携しながら、主に入院中のお子さんやご家族の心理社会的な問題に対応しています。医師や看護師からの依頼を受けて、心理面のアセスメントやカウンセリング、スタッフへのコンサルテーション（相談）を行う他、病棟を巡回して（人手不足のためすべての病棟を巡回することはできませんが）、病室でお話を聴かせていただいたりしながら、病棟スタッフからも気軽に声をかけていただけるよう心がけています。

これまで通り、心理査定（発達検査、知能検査等）や親御さん向けの子育てプログラム（「安心感の輪」子育てプログラム）も行っています。

新しくなった「心療科」をよろしくお願いします。



「心理療法室」では、心理検査や心理面接、子育てプログラム等を実施しています。

